

一般質問

十一月定例会では、八人から一般質問が行われました。

さらなる子育て支援策を



平八重光輝議員

平八重議員 少子化の進むなか、これまで以上の子育て支援策が求められる。薩摩町では、六歳未満の乳幼児医療費が無料となつているが、合併した新町でも実施すべきではないか。

町長 少子化対策及び子育て支援策のひとつとして、新町でも、乳幼児医療費の一部負担金を、全額助成することになっている。

専業主婦家庭の子供の保育を

平八重議員 専業主婦家庭でも、子供を二〜三人と育てるのは大変なことである。希望される専業主婦家庭の乳幼児も、保育受け入れをできないものか。

町長 出産や子育てに、メリットがあると認識できる施策を積極的に展開することが重要である。専業主婦家庭の子供の保育受け入れは、現行制度では厳しいが、一時保育推進事業の制度もあるのを利用していただけたらと思う。

出生祝い金制度に

代わる施策を

平八重議員 新町では、出生祝い金制度が廃止になるようだが、これに代わる施策は考えられないか。全国の子育て支援事業のモデル事業となるような取り組みはできない

ものか。

町長 出生祝い金制度に代えて、「すこやか子育て支援事業」がスタートする。この制度は、十八歳未満の子供を三人以上養育している世帯で、六歳未満の乳幼児が一人の場合は五千円、二人は一

万円、三人以上は一万五千円を支給する。これは、国の児童手当とは、別支給である。

また、保育料についても、国の基準よりも軽減し、さらに所得の高い階層を調整することにより、平均四一割の軽減率となるようだ。

新町の町長選に

出馬の意思は

平八重議員 合併後の「さつま町」の町長選挙に、出馬の意思はあるものか。

町長 町政を担当させていただいて九年あまり、全力をあげて町勢発展に取り組んできた。町民の皆様が支持が得られるならば、新町発足後においても町政を担当させていただき、新町建設に全身全霊、打ち込みたい。



元気ですくすくと育つように（1歳7か月児健診）